

兵庫県のシテムシ・チビシテムシ (兵庫県甲虫相資料・92)

高橋寿郎*

日本産シテムシ (Silphidae) については、中根猛彦博士がその概説をまとめられ (虫・自然, No. 18: 99-101, 1948)、その時代までの研究史についてもその報文中でまとめておられる。その後、同博士による“日本の甲虫, 21-23” (新昆虫, 8巻, 1~3号, 1955) で再び日本産の総説がなされ、1963年には、原色日本昆虫大図鑑, 第2巻 (甲虫編) の中に31種が原色で図説をされ、ほぼ日本産のこの仲間についてはまとめられた感じがする (日本産のこの科は中根博士によると概数35種となっている, 1972)。その間、Mroczkowski, M. (1959), Shibata, T. (1969), 黒沢良彦 (1974, 1980) などの研究も発表されている。

兵庫県産のこの類については、断片的な報告はあっても全般をまとめたものはない。淡路島産をまとめられた堀田氏の報文 (1977)、氷上郡下のものをまとめられた山本氏の報告 (1958) があるくらいのものである。全般的に調査の充分行なわれていないグループのようで現時点での報告はまだ時期尚早かもしれないが、一応これからの調査の叩き台的意味でここに不十分ながら発表させて頂くことにした。

尚、この類に近縁のチビシテムシ (Catopidae) の県下のものもここにまとめておいた。こちらも県下の調査がほとんどされていない。この仲間の日本産についても中根博士の総説があり (1955, 1963)、同定もそれによった。生態については、ファーブルの昆虫記にも僅か出ているが、W. V. Baldauf の “The Bionomica of Entomophagous Coleoptera” (1935) を抄訳された谷口和義氏の “埋葬虫科” (宝塚昆虫館報, 23号, 1942) ではこの仲間が総括的に述べられ、特定の種の生活史も説明されていて大変有益で貴重な文献である。

Family Silphidae シテムシ科

1. *Camioleum loripes* LEWIS キイロツヤシテムシ
山地の花に集まる。また葉に来ることもあるが、県下では扇ノ山の記録があるのみである。

* 現住所 〒652 神戸市

産地：美方郡扇ノ山〔辻, 1963., 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1978〕*

2. *Pelatines striatipennis* LEWIS オサシテムシ

本種も山地帯にいるようで、黄赤褐色～赤褐色で触角・肢などは黄赤褐色、背面はふくらむきれいなシテムシである。成虫は花上や葉上に多くみられまた朽木でも得られる。初夏に多いが秋までいるそうである。県南部の海岸線沿いの地域ではみられない種のようなのである。

産地：宍粟郡音水 (1ex., 31-V-1970, 1ex., 21-V-1972), 赤西 (1ex., 27-V-1979), 福知溪谷 (1ex., 3-VI-1975, M. Yuma leg.), 坂ノ谷 (5exs., 9-VI-1973, S. Hisamatsu det.). 氷上郡小金岳〔山本, 1958〕. 養父郡氷ノ山 (1ex., 27-VII-1956). 美方郡扇ノ山〔辻, 1963., 辻, 岸田, 1972., 高橋, 1975〕.

3. *Nicrophorus concolor* KRAATZ クロシテムシ

日本産シテムシの中で最大の種である。一般的に野外での採集は難しいが、ヘビやカエルの死体によく来ている。トラップをかけるといくらでも集まる。したがって広く多くいる種だと思われる。

産地：洲本市安乎町〔堀田, 1977〕. 川西市笹部, 大和〔仲田, 1978〕. 神戸市御影〔関, 1933〕, 鳥原 (16exs., 25-VII-1976), 山の街 (2exs., 27-VII-1977), 下谷上 (2exs., 5-X-1979), 押部谷町木見 (4exs., 20-VII-1980). 宍粟郡赤西 (1ex., 9-IX-1978). 氷上郡〔山本, 1958〕. 出石郡但東町口藤〔高橋, 1963〕. 城崎郡城崎上山〔高橋, 1975〕. 養父郡氷ノ山〔高橋, 1959〕.

4. *N. investigator latifasciatus* LEWIS ヒロオビモンシテムシ

大変離れた地点で採集されているが、いまひとつ分布がよくわからない種である。

産地：洲本市安乎町〔堀田, 1977〕. 宍粟郡音水 (3exs., 24-VI-1973).

5. *N. japonicus* HAROLD ヤマトシテムシ

成虫は夜行性で春から秋にわたり動物の死体に集まる。適当な死体があると土の中に埋めこんで卵を産みつけ、幼虫はその腐った肉を食べて育ち、土中で蛹になり成虫となって地表に出てくるのが知られている。本種は

*産地の所で〔 〕のものは文献からの引用。()は筆者採集もしくは恵与を受けたもので現在筆者標本所有のものを表わす。

高橋 寿郎

Hiogoの記録があるので神戸にはいるのかもしれないが、筆者は神戸では勿論、県下でも未採集である。

産地：Hiogo〔Lewis, 1887〕. 氷上郡〔山本, 1958〕. 豊岡市一日市, 塩津〔高橋, 1975〕.

6. *N. maculifrons* KRAATZ マエモンシテムシ

本種も兵庫県下で筆者未採集。平地から山地にかけて普通にいるということであるから調査不十分のようである。成虫は春早くから秋遅くまでみられ冬、土中で休眠する。

産地：洲本市安乎町〔堀田, 1977〕. 川西市大和〔仲田, 1978〕. Hiogo〔Lewis, 1887〕. 神戸市御影〔関, 1933〕. 氷上郡〔山本, 1958〕. 豊岡市内〔高橋, 1976〕.

7. *N. quadripunctatus* KRAATZ ヨツボシモンシテムシ

上翅の横帯紋がそれぞれ小黑点を1個ずつ含むことで一見して他のどれからも識別できる。県下に広く普通に分布している種である。

産地：洲本市安乎町〔堀田, 1977〕. 川西市新滝道〔仲田, 1978〕. 神戸市御影〔関, 1933〕, 烏原〔lex. 13-VIII-1977〕, 藍那〔lex., 2-VI-1978〕, 丹生山〔2exs., 15-V-1955〕, 下谷上〔7exs., 5-X-1979, 3exs., 23-X-1979, lex., 7-XI-1979〕, 押部谷町木見〔4exs., 20-VII-1980〕. 夕可郡鳥羽〔lex., 29-IV-1972〕. 神崎郡砥ノ峰〔lex., 23-VII-1977, lex., 26-VII-1977 2exs., 22-X-1977〕. 相生市三濃山〔2exs., 6-V-1973〕. 宍粟郡音水〔3exs., 31-V-1970〕, 赤西〔lex., 9-IX-1978〕. 氷上郡〔山本, 1958〕. 養父郡氷ノ山〔高橋, 1959, 1975〕. 美方郡扇ノ山〔辻, 1963, 辻, 岸田, 1972〕.

8. *N. tenuipes* LEWIS ヒメクロシテムシ

本州の高地帯にいる種であるが、音水で2exs. 採集している。

産地：宍粟郡音水〔2exs., 24-VI-1973〕.

9. *Ptomascopus morio* KRAATZ コクロシテムシ

光沢のある小型の黒い種でわかりやすい。腐敗動物質にくる。普通にいる種である。

産地：川西市笹部〔仲田, 1979〕. 神戸市御影〔関, 1933〕, 烏原〔8exs.,

25-VIII-1976, 1 ex., 13-VII-1977). 夕可郡加美町三谷 (2 exs., 29-IX-1974). 氷上郡〔山本, 1958〕. 出石郡出石町暮坂〔高橋, 1963〕. 豊岡市一日市〔高橋, 1975〕. 美方郡扇ノ山〔辻, 1964., 辻, 岸田, 1972〕.

10. *Necrodes asiaticus* PORTEVIN オオモモブトシテムシ
 広く産するように思うのだが案外山地帯、北部方面での記録がない。そのあたりどうなのだろうか。腐敗動物質に集まる。
 産地：洲本市先山〔堀田, 1976〕, 中津川, 安乎町, 山武牧場〔堀田, 1977〕. 川辺郡猪名川町日生ニュータウン〔仲田, 1978〕. 川西市大和〔仲田, 1978〕. 神戸市御影町, 石屋川〔関, 1933〕, 六甲山〔大阪の昆虫, 1978〕, 鳥原 (1 ex., 16-XI-1952), 山の街 (1 exs., 23-IX-1954). 加西市畑 (1 ex., 17-V-1974, 1 ex., 23-VI-1974, 2 exs., 29-IV-1974, 1 ex., 13-VII-1974, 1 ex., 27-VII-1974). 氷上郡〔山本, 1958〕.

11. *N. nigricornis* HAROLD モモブトシテムシ
 本種も広く分布していると思われる。本種の方が北部での記録はやや多くあるようである。公園の公衆便所などで見られることがある。
 産地：洲本市安乎町〔堀田, 1977〕. 川西市見野, 大和〔仲田, 1978〕, 一の鳥居〔大阪の昆虫, 1978〕. Hiogo〔Harold, 1875〕. 神戸市御影町, 石屋川〔関, 1933〕, 摩耶山〔中根, 1955〕. 加西市畑 (1 ex., 29-VI-1974, 2 exs., 27-VII-1974). 氷上郡〔山本, 1958〕. 出石郡但東町中山〔高橋, 1963〕. 豊岡市一日市, 塩津, 山本〔高橋, 1975〕. 城崎郡香住町矢田〔高橋, 1975〕.

12. *Calosilpha brunnicollis* KRAATZ ベッコウヒラタシテムシ
 黒色で前胸は橙褐色で光沢があり。通常中央板面は多少暗色である。動物の死体など。例えば蛇の死骸などによく集まる。個体数は特に多いとは思わないが広く分布しているようである。
 産地：洲本市先山〔堀田, 1976〕, 安乎町〔堀田, 1977〕. 川西市笹部〔仲田, 1978〕. 神戸市御影, 石屋川〔関, 1933〕, 本山〔中根, 1955〕, 鳥原 (1 ex., 11-VII-1976, 10 exs., 25-VII-1976, 1 ex., 13-VIII-1977, 2 exs., 11-VIII-1980). 夕可郡鳥羽 (1 ex., 19-VII-1975). 氷上郡〔山本, 1958〕. 養父郡氷ノ山〔1 ex., 16-VII-1971, K. Tsuji leg.〕.

13. *Eusilpha japonica* MOTSCHULSKY オオヒラタシデムシ
 黒くてやや藍光沢を帯びる。多くいる。
 産地：洲本市先山〔堀田, 1959, 1977〕。川辺郡猪名川〔大阪の昆虫, 1978〕。
 川西市見野, 笹部, 大和〔仲田, 1978〕。Hiogo〔Heyden, 1879〕。
 神戸市石屋川〔関, 1933〕, 本山〔中根, 1955〕, 再度山〔大阪の
 昆虫, 1978〕, 鳥原(2exs., 21-IV-1968, 1ex., 1-VII-1973,
 8exs., 14-VII-1973, 3exs., 18-VIII-1974, 1ex., 17-VII-1976,
 1ex., 25-VII-1976, 1ex., 1-V-1977, 1ex., 23-V-1980,
 1ex., 6-VI-1980)。明石市明石公園(6exs., 12-VII-1978)。
 夕可郡三谷(1ex., 4-IX-1976)。飾磨郡家島(3exs., 26-V-1978)。
 永上郡〔山本, 1958〕。出石郡出石町有子山〔高橋, 1963〕。豊岡
 市桜町, 九日市, 出石町弘原〔高橋, 1975〕。
14. *E. jakowlewi similator* SHIBATA ツシマヒラタシデムシ
 (大阪平野亜種)
 1969年 芝田太一氏により命名された(Entom. Rev. Japan, Vol. XXI,
 No. 2, p. 51-53, pl. 5, f. 7, pl. 6, f. 2, 6, 7)種であり。モンゴル・
 朝鮮・対島に分布する原名亜種に比べ。上翅の外縁のミミズバレのような
 ふくらみが発達する。この特徴でオオヒラタシデムシとも区別出来る(オ
 オヒラタシデムシとは触角の第7節が横長である点でも区別出来る)。大
 阪平野に多くいて山地には棲まぬようで。対島。大阪とも森林に囲まれな
 い環境を好むということである。神戸市内。明石市内等でオオヒラタシデ
 ムシと混棲している。今のところ海岸線沿いの地域にのみいる種のように
 ある。もっとも摩耶山登山道で採集出来たりしている。
 産地：伊丹市岩屋〔大阪の昆虫, 1978〕。神戸市摩耶山(1ex., 15-VI-1979),
 鳥原(1ex., 3-IX-1980)。明石市明石公園(1ex., 26-VI-1976,
 1ex., 3-VII-1976, 1ex., 12-VII-1978)。加古川市内(1ex., 21-
 IV-1968)。
15. *Oiceoptoma nigropunctata* LEWIS クロボシヒラタシデムシ
 筆者未採集である。調査が足りないようである。
 産地：永上郡神楽〔山本, 1958〕。城崎郡三川山〔高橋, 1975〕。
16. *Thanatophilus auripilosus* PORTEVIN ヒメヒラタシデムシ
 本種も調査不十分である。もっといそうに思われる。
 産地：Hiogo〔Harold, 1877〕。神戸市鳥原(1ex., 28-III-1971)。美

兵庫県のシテムシ・チビシテムシ

方郡浜坂〔高橋, 1975〕.

17. *T. subrugosus* PORTEVIN オニヒラタシテムシ
かなりいるように思われるのだが、調査不足である。
産地：川西市〔仲田, 1970〕. 神戸市石屋川〔関, 1933〕, 須磨〔中根,
1955〕. 高砂市高砂(6 exs. 29-III-1959).

Family Catopidae チビシテムシ科

1. *Catops hilleri* KRAATZ ヒレルチビシテムシ
産地：神戸市〔中根, 1955〕. 夕可郡鳥羽(1 ex., 29-IV-1972).
2. *C. angustips apicalis* PORTEVIN アカアシチビシテムシ
産地：西宮市〔中根, 1955〕.
3. *Sciodrepoides japonicus* JEANNEL ホソムネコチビシテムシ
産地：川西市笹部〔仲田, 1979〕. 神戸市箕谷(1 ex., 5-IV-1975), 下
谷上(13 exs., 23-X-1979). 相生市三濃山(1 ex., 12-V-1974).
4. *Catopodes fuscifrons* KRAATZ クシヒゲチビシテムシ
産地：川西市笹部〔仲田, 1979〕,
5. *Micronemadus pusillimus* KRAATZ クリバネチビシテムシ
産地：神戸市須磨区妙法寺(1 ex., 25-IV-1979).

以上県下のシテムシ・チビシテムシをまとめてみたが、初めに記したように非常に記録が少ない。特にチビシテムシでは少ない。明らかに調査不足だと思うし、ここに掲げた種についてももっと他の場所にもいると考えられるので今後一層の努力が必要であると痛感している。なお参考文献は省略させて頂いた。